



2024年4月30日

各位

会社名 ヤスハラケミカル株式会社
代表者名 代表取締役社長 安原 禎二
(コード番号 4957 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営統括本部長 原田 桂子
(TEL. 0847-45-3530)

特別損失の計上及び業績予想との差異に関するお知らせ

2024年3月期第4四半期において、下記の特別損失の計上を行うとともに、2023年4月28日に公表しました2024年3月期通期の業績予想と下記の通り差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は2023年3月に、生産性の向上、工場稼働率の改善に基づく、収益体質の良化に繋がることを狙いとして、ホットメルト製造工場の鶴飼工場への統合をいたしました。統合後の期間において原材料価格高騰の長期化に加え、ホットメルト事業の主力市場が、大きく停滞する状況となりました。

今回の需要低迷は、消費行動の変化によるものが大きいとみており、足元の経済状況として、東欧ならびに中東情勢の長期化による将来不安が根強く残る状況では短期間での市場改善を期待することは難しいと判断し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2024年3月期第4四半期において、ホットメルト事業における生産設備等について619百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

場所	用途	種類	金額
広島県府中市	工場	機械及び装置並びに建物等	619百万円

2. 業績予想との差異について

2024年3月期通期個別業績予想の差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,393	326	391	263	27円63銭
今回実績値 (B)	13,192	681	1,173	583	61円50銭
増減額 (B) - (A)	△200	354	781	319	
増減率 (%)	△1.5	108.5	199.5	121.5	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	11,883	207	625	669	65円85銭

(予想との差異理由)

通期の売上高につきましては、インフレやウクライナ情勢の長期化による消費者心理の悪化により、市場の回復を見込んでおりました電子材料用途ならびに食品用途が低調に推移したことで、予想を下回りました。一方、営業利益、経常利益につきましては、原料価格の製品への価格転嫁、為替要因などにより予想を上回り、当期純利益につきましても予想を上回りました。

以 上